

つくしんぼ 保育園



完成
しました！



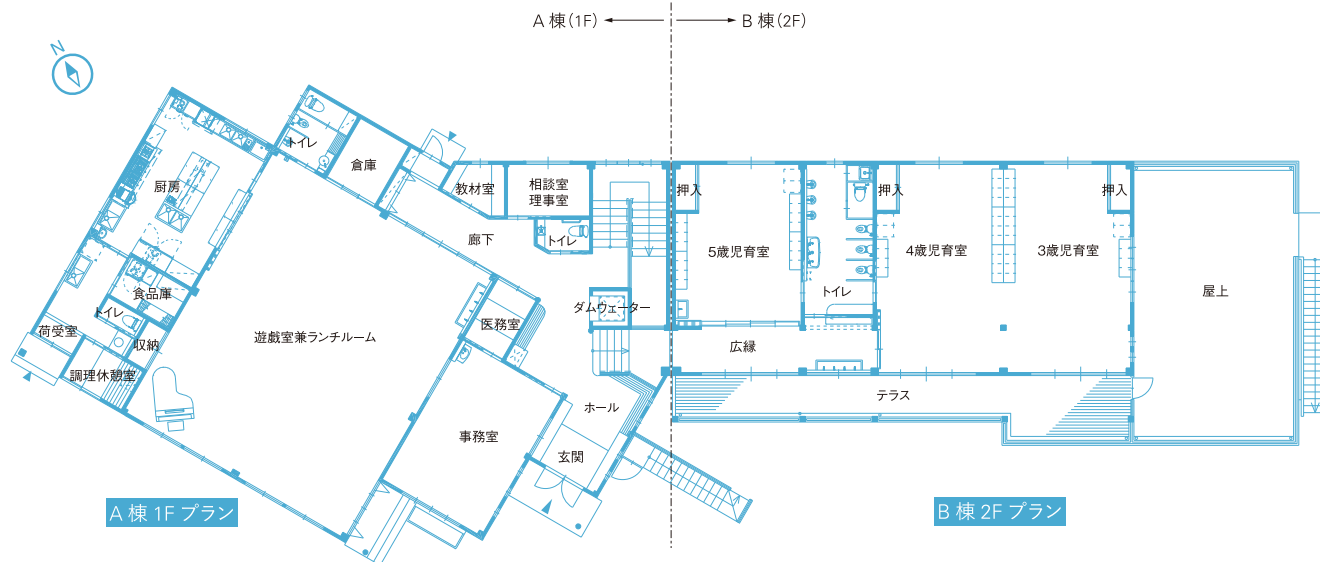
遊戯室兼ランチルーム：北側に大きなハイサイド窓を設け、採光と通風に配慮。
また厨房を併設して、互いに顔の見える給食を実施。

吉田建築計画事務所

木造の園舎は、 第二のふるさと

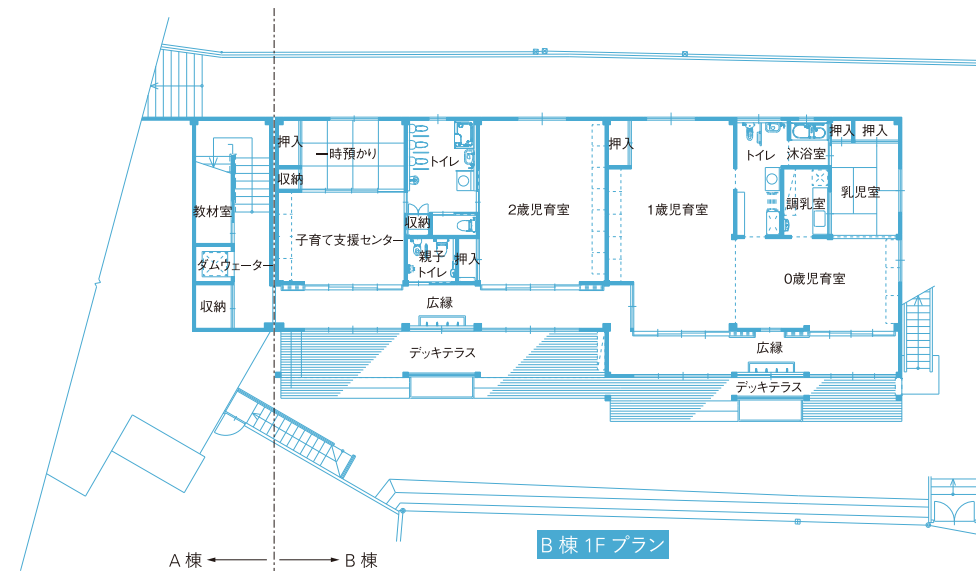
つくしんぼ保育園
園長 岩間和子

旧園舎の老朽化に伴い、建て替えのための移転候補地を吉田氏に見てもらったところ、「ここに建ちますよ」と示されたのが、狭く見えた段差のある地形を、そのまま活かしたユニークなプランでした。
木造で床は檜、光を多く取り入れてほしいし、その通りの園舎となりました。
真冬に引越しをしたのですが、旧園舎と比べて暖かさが一段と違いました。
また近隣への防音対策や、日照の妨げとならないような設計をお願いしました。
「近所からは「思ったよりも音が聞こえないよ」と言ってもらえました。
人生の土台の時期を過ごす、ぬくもりあふれる木造の園舎は、第二のふるさととしていつまでも子供の心に残ることでしょう。



つくしんぼ保育園

Data
 事業主：社会福祉法人 諏訪福祉会
 〒316-001 茨城県日立市諏訪町 3-12-19
 電話：0294-37-4278 FAX：0294-37-4272
 用途地域：未指定(市街化調整区域)
 敷地面積：1216.95㎡(368.12坪)
 建築面積：567.48㎡(171.66坪)
 延床面積：680.45㎡(205.84坪)
 建蔽率：46.64%≦60%(許容)
 容積率：55.92%≦200%(許容)
 耐火建築物：準耐火建築物(イ)
 構造：木造ラーメン工法2階建て
 竣工：2014年2月
 施工：進貢・松永JV(特定建設工事共同企業体)



YOSHIDA Architects Design Office
 (有)吉田建築計画事務所
 (1級建築士事務所)

□ 本社
 〒315-0001 石岡市石岡1-1-8
 tel.0299-56-3246

□ つくば事務所
 〒305-0047 つくば市千現2-1-6
 tel.029-854-0203

<http://www.iezukuri.co.jp/> Mail: info@iezukuri.co.jp



建物正面の全景、中央の玄関より左側が平屋建て(A棟)、右側が2階建て(B棟)。八溝杉を外壁材として使用。

自然の地形を活かしたスキップフロアの保育園、自然の温もりを感じながら、変化にとんだ木の空間でのびのびと育って欲しい。



旧園舎の耐震問題や老朽化に伴い新園舎の建替えが計画されました。建設予定地に何うと、高低差が約3mはゆうにある段丘状で、加えて敷地形状は複雑な上に、保育園用地としてはぎりぎりの敷地面積でした。先生方とプランの検討を重ねるなかで設計の方向性が定まりました。まず温もりのある木造の園舎とす。周辺環境や周辺住民に配慮し高さを抑えた建物とする。自然の地形を活かした特徴あるプランとし、併せて耐震性及び耐火性の高い建物とすること等。

地形を活かすプランと構造

もとの地山の地形を崩さずに、段上に沿った形で3層構造のスキップフロアーとしました。各フロアは緩やかな階段で繋がります。また、地震時の建物の揺れを想定して、構造上平屋建ての建物(A棟)と、2階建ての建物(B棟)に分け、外観上は一体に見える建物としました。

のびのびとした空間と、自然とのふれあい

プランは0歳・1歳児保育室及び3歳・4歳児保育室は、ワンルームの

伸び伸びとした空間とし、将来の様々なニーズに対応できる可変性のある空間としました。また、子供達が日常的に自然と触れ合えるように、各保育室の南側には広縁とテラスを設けました。縁側の空間である広縁は引き戸の開閉で室内の温熱環境を調整でき、半屋外的な空間のテラスは園庭と室内を緩やかに繋がります。



地域性を活かした木の空間
子供達のところからだの健康、また自然環境へ配慮し、構造は木造(ラーメン工法)とし、室内は檜の床、壁や建具に八溝杉など茨城県産木材を使用しました。創造性に溢れ、感受性豊かな子供達に自然の良さを肌で感じながら育って欲しいと願っています。



吉田建築計画事務所 所長 吉田良一

吉田良一
一級建築士
マトリックス都市建築設計事務所を経て、1993年吉田建築計画事務所設立。



0歳・1歳・2歳児室南側のデッキテラス、室内と連続して多目的に使える。



1歳児室より奥に0歳児室を見る。ワンルームの広々とした室内。右側は広縁で建具の開閉で部屋の大きさを可変。



光と風の通る5歳児室前の広縁、南側には屋根付のテラスがある。



伸び伸びしたワンルームの3歳・4歳児室、真ん中のロッカーで分けている。



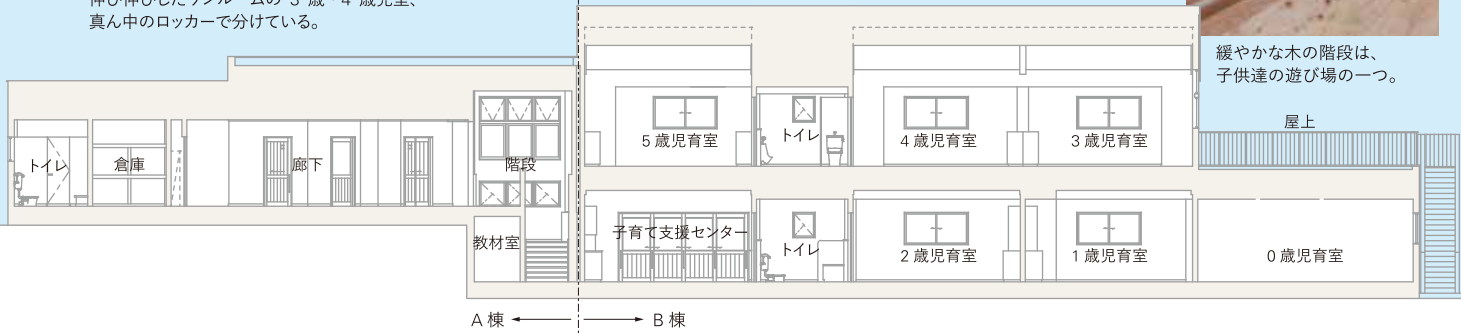
風が流れ、木の香ただよ子供用トイレ



玄関ホール：ベンチや掲示版(コルク壁)を設け、情報発信と交流の場とした。



緩やかな木の階段は、子供達の遊び場の一つ。



一時預かり室：ランチの様子、建具の開閉で多目的に使用できる。



5歳児室：読み聞かせの様子、天井が高く明るく開放的な空間



遊戯室兼ランチルーム：檜の床に、大きな柱や梁が見える木の大空間。子供達は素足で木の温もりを感じられる。



保育室から遊戯室へ移動する園児。高さの変化は子供にとってリズムを感じ、楽しみながら生活できる。